

## 沼田市議会6月議会報告

# 国保税は17万8千円で所得の12.7%

沼田市の国保加入世帯の年間所得の平均は140万3,449円、平均国保税は17万8,638円で、所得の12.7%を占めていることが、8日行なわれた井之川博幸議員の一般質問で明らかになりました。

所得が233万円の標準世帯では、36万円以上、15%を超えます。国保税が高くなった一番の原因は、「国庫負担の削減」で、1984年の削減前は国保歳入のなかで、国庫支出金は50%を占めていたが、2011年度沼田市国保予算では27%まで低下していることが明らかになりました。金額にすると影響額は約15億円で、復活すれば1世帯15万円程度の引き下げが可能です。

## 所得は最低なのに国保税は8番目

県内12市のなかで、沼田市の市民所得は最低なのに国保保険税は8番目に高いことが明らかになりました。少ない所得で他市並の国保税を負担していることに、市長は「やむをえない」という姿勢を示しました。

## 高すぎる保険税に引き下げを要求！

国保税を引き下げのために、12市のなかで7市が一般会計からの繰入れを実施していることも明らかになりました。井之川議員は、「国の悪政で市民が苦しんでいる。それを救うのは自治体本来の役割であり、本市も繰入れをして国保税の引き下げを実施すべき」と要求しましたが、市長は拒否しました。

## 資格証明書の発行停止を 本市では2重の制裁！

保険税を1年以上滞納し、特別に事情がない限り、保険証は取り上げられ、「資格証明書」(右図)が発行されます。資格証明書で医者にかかると、窓口10割負担をしなければならないので、お金が無い人は我慢をしまい、手遅れで重症化し、命を落とす人も数多く報告されています。

本市では国保税を滞納すると、この他にも30種類の市の行政サービスが受けられなくなります。国保税を滞納した母子家庭で、出産祝金が受けられないということも起きています。市民の人権を無視する「資格証明書の発行」はただちに停止するよう求めましたが、市長は聞き入れませんでした。

## バス路線一字楚井・原、奈良・秋塚線は10月頃再開へ

一昨年9月末から乗合タクシーが休止されている「宇楚井・原、奈良・秋塚路線」の再開について、井之川議員が、「いつ頃をめどに検討をすすめているのか」と質したことに對し、市民部長が、「10月頃を目標に検討を進めている」と答えました。



5年間走行していた乗合タクシー→

## 市議会議員の報酬カットを継続

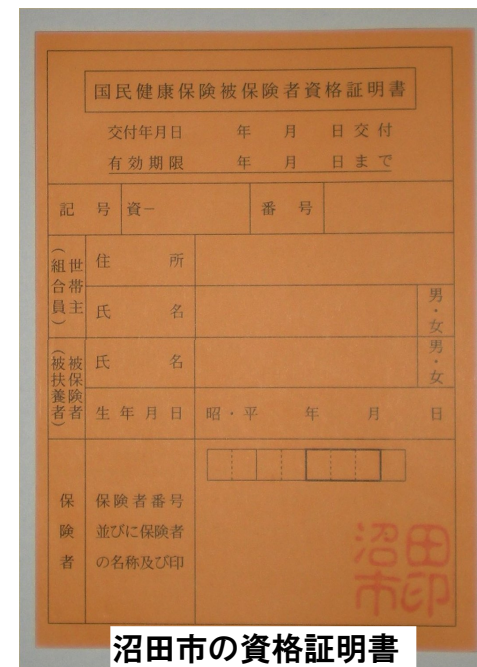
沼田市議会は前議員任期中、議員報酬カットを行ってきましたが、新議員になった今期もカットを継続していくことに決めました。議長は10%、副議長は8%、議員は5%です。

## 政務調査費は削減し、交付へ

政務調査費については凍結を解除し、年間18万円を12万円に削減し交付することになりました。従来は会派(2人以上)でなければ交付されませんでした。今期からは、1人でも交付することになりました。

## 蜂須賀議員に道義的責任を認識し、自ら辞職するよう通告

沼田市議会の議会運営委員会は、先の市議選の買収容疑で逮捕された蜂須賀一男議員に、「道義的責任を認識し自ら辞職をするよう」通告することを決めました。



沼田市の資格証明書

2011年6月12日 No.562

**いのさんニュース**

井之川博幸議員活動地域版 部内資料